

マスクの着用について

これから気温が高くなり熱中症にも気を付けなければなりません。そこでマスクの着用についてのお願いです。

先生方は、基本子どもの前では、マスクの着用をお願いします。

ただし校庭での活動で距離がある場合や呼気が上がる運動をしている場合、熱中症になる恐れがある場合は外しても大丈夫です。

また、熱を逃がすためにマスクを外し、熱を逃がし落ち着いたらすぐに着用することもいいと思います。これは子ども達も教職員も同じです。

子ども達も、基本マスクは着用です。ただし、熱中症が心配される時は外しても良いですが、絶対に話をしない約束を守ります。また体育学習で呼気が上がるような運動の場合は、マスクを外して運動します。外したくない人はいいのではなく、外させてください。外したマスクは、ポケットに入れることになると思うので、直接が嫌な場合はビニル袋やマスク入れを用意させておきます。着替えや教室からの移動、教師の指導内容説明、グループでの話合い、用具の準備や後片付けなど児童が運動を行っていない場合は、マスク着用です。

登下校時も密の状態であればマスクを外してもいいと思うのですが、集団登校になると難しい状況であると思います。外す場合は「無言しゃべらない」を守ることです。

横浜市教育委員会より示されているガイドラインでは、相手との距離が2m以上ある場合はマスクを外して会話をしてもよいとなっています。そうでない場合はマスク着用になっています。

※マスクを外してよいのは、十分な身体的距離が取れている場合、十分な呼吸ができなくなるリスクがある場合、熱中症になるリスクがある場合には、マスクを外してもよいとなっています。特に、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクを感じた場合は全員にマスクを外すようにしてください。

学校では6月1日、7月7日に各学級にて以上の内容で指導をしています。ご家庭でも、子ども達にこのルールを確認してください。